

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	がん悪液質患者におけるアナモレリン塩酸塩の投与継続期間および治療効果に影響を与えるリスク因子の検討：後方視的観察研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	愛媛大学医学部附属病院 薬剤部長 田中守
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年 9月 30日
対象となる方	2021年7月から2026年2月末までに愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちアナモレリン塩酸塩が開始となった患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 年齢、性別、身長、体重、癌種、Performance Status、治療開始日、前治療数、オピオイド鎮痛薬・非オピオイド鎮痛薬・鎮痛補助薬・ステロイド薬の併用有無、化学療法併用有無、血液検査データ (Alb、CRP、Cre など)、疼痛評価尺度 (NRS)、アナモレリン服用開始日、アナモレリン服用中止日、アナモレリン服用中止理由、最終追跡日など
研究の概要 (目的・方法)	近年、がんによる食欲低下や体重減少(がん悪液質)に対するお薬として、「アナモレリン塩酸塩」が使用されるようになり、食欲や体重の改善が期待されています。しかし、このお薬の効果には個人差があることがわかってきています。最近では、その理由の一つとして「痛み」の状態が関係している可能性が報告されています。 本研究では、アナモレリン塩酸塩を使用した患者さんを対象に、お薬を続けられた期間に影響を与える様々な要因(年齢、ご病気の状態、併用しているお薬など)を調べます。特に、お薬を始める前の「痛みがどの程度コントロールされ

	ているか」に着目し、お薬の継続期間や治療効果にどのような違いがあるかを調べることを目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 福嶋愛 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5738